

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス（証券コード：－）

### 【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- (1) 埼玉、神奈川両県で事業展開する社会医療法人。急性期医療を担う東埼玉総合病院（埼玉県幸手市/173床）、海老名総合病院（神奈川県海老名市/479床）、ケアミックス型の座間総合病院（神奈川県座間市/352床）などを構える。2病院がある神奈川県・県央医療圏でのプレゼンスは高く、19年4月には同医療圏の他の医療機関とともに地域医療連携推進法人「さがみメディカルパートナーズ」を結成した。また、関連法人の静岡メディカルアライアンスを通じ、下田メディカルセンター（静岡県下田市/154床）の指定管理を受託するなど、広域運営を行いながらも、社会医療法人として地域医療に積極的に貢献している。
- (2) 16年に開業した座間総合病院の患者数は伸長しており、他の病院の集患や人材確保もおおむね順調である。エリアごとの管理体制を敷き、診療報酬改定や展開地域の環境の変化に的確に対応しており、当面、一定水準の減価償却前営業利益を確保できると想定される。一方、財務面では、外部監査の導入に向けた財務処理を受けて純資産が減少するなど改善の余地がある。ただ、安定したキャッシュフロー創出力を基に、着実な債務償還が可能とJCRでは判断している。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 法人全体の医師数は常勤換算で200名を超え、近年の医師招聘の取り組みの成果が表れている。海老名総合病院では、救急医療などの強化が進み医療圏での重要性が高まる一方、老朽化への対応と診療スペースを広げる必要から新棟の建設が検討されている。新棟開業による機能の強化や収益の底上げに向けた、さらなる人材基盤の拡充の進展が注目される。また、採算が厳しい神奈川エリアの健診事業は、19年4月より海老名駅近くに拠点を移し、サービスの効率化と利用者獲得に努めている。健診や生活支援サービスを通じ、収益基盤の強化や多様化を進めていけるかにも注目している。
- (4) 埼玉、神奈川両エリアともに医療・介護需要は増加基調にある。医療・介護連携への注力など診療報酬改定への対応を図り、人材配置に応じた医業収益の確保を進めており、人件費比率は一定の範囲内で推移している。18年度診療・介護報酬同時改定の収支への影響は限定的となっており、今後も安定した収支構造を保てるとJCRではみている。借入金は17/3期をピークに減少傾向にあるが、財務面の余裕度は大きくはない。海老名総合病院の新棟の建設を視野に入れた資金蓄積と財務基盤の強化が重要となる。

（担当）吉田 法男・佐藤 洋介

### ■格付対象

発行体：社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年5月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：吉田 法男
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「医療機関の信用格付方法」(2010年9月6日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した未監査財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、情報の正確性に関する発行体の表明保証、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル